

# 一般会計予算決算常任委員会記録

平成27年9月17日

【開催日】 平成27年9月17日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後2時48分～午後3時8分

【出席委員】

委員長	伊藤 實	副委員長	中村 博行
委員	岩本 信子	委員	河野 朋子
委員	下瀬 俊夫	委員	杉本 保喜
委員	長谷川 知司	委員	松尾 数則
委員	吉永 美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
----	-------	-----	-------

【執行部出席者】

総合政策部長	芳司 修重	財政課長	篠原 正裕
財政課主査兼財政係長	山本 玄	市民生活部長	小野 信
健康福祉部長	河合 久雄	産業振興部長	姫井 昌
建設部長	佐村 良文	成長戦略室長	大田 宏
山陽総合事務所長	吉藤 康彦		

【事務局出席者】

局長	古川 博三	局次長	清水 保
----	-------	-----	------

【審査事項】

- 1 議案第79号 平成27年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）  
について

午後2時48分開会

伊藤實委員長 それでは、ただいまから一般会計予算決算常任委員会を開会し、議案第79号一般会計補正予算（第2回）について審査を行います。討論、採決に入る前に、今回、長い時間をかけて審査し、また、現地視察も行った厚狭地区複合施設整備事業について自由討議を行います。各委員の意見をお願いします。

吉永美子委員 この度の議案第79号の中で議論になったのが、外国語のパンフレット作成業務に500万円ものお金を使うのかというのがありました。本来、無料WiFiの設置や多言語表示などがこれよりも先だと思いましたが、担当の職員の中で近隣市があるのにうちがないという切実な思いが伝わってきたので、そこは汲み取ってあげたいのでよしとしました。しかしながら、厚狭の複合施設については審査していく中で9月15日にも確認しましたが、24年のワークショップで100台は駐車場が必要だということで、外構工事の中で何台かというのは決まらなかったと。ただ昨年と言われたので、平成26年にこれでは足りないということが分かったということで、これまで何をしていたのかという思いはすごく持ちました。今回、職員駐車場という形で出てきましたが、この目的は複合施設の職員のための駐車場であったというのは考えにくい中、また、現地に行きましたが、交通量の調査をしていなかった、そばにある家の人にも下話をしていなかった、近隣の人の意見を聞くことも全くなかった中で、何のために駐車場の予定地として進めようとしているのか、わざわざ今回補正予算の中に上げてきた意味がよく分からない状況です。厚狭の陶好会館もこの場所で本当にいいのか、まだまだ審査をしていかなければいけないということがあり、この部分の予算については上げるべきではないと思います。

伊藤實委員長 今は厚狭の複合施設についての自由討議ですので、その部分でのみお願いします。

岩本信子委員 そもそも厚狭公民館は取り崩すことが当初計画では決まっていたんですが、それにくっついてきた陶好会館をなぜ当初計画に乗せていないのかが疑問です。それを補正で上げてきたところに意図を感じます。もう少し違う場所も検討してもいいのではないかと思います。まだまだ検討する余地があるのではないかと思います。

下瀬俊夫委員 今回の9月議会の大きな特徴ですが、市長がガラッと変わったような感じがします。これまで先進地に行かさなかったのに市長から積極的に行かせるということで、こんなことはかつてなかったと思います。ただ、今回の補正予算を審査して、地方創生の先行型の交付金が出て、現課が一所懸命考えて、自分たちのまちづくりにどう生かしていくかという観点からこの交付金を活用しようということではなくて、交付金があるから簡単にいろいろなことを始めたという感じがします。これまで

本当にお金がないということで抑えられて、何もできないという話がずっとあって、今回は次々と大盤振る舞いで、その典型は500万円を使ったパンフレットだと思います。その点で、これまでの山陽小野田市の行政では考えられないことが次々と起こっています。そういう中で今回の駐車場問題が出てきた。現地に行って、駐車場が1,500万円もかかるのかという思いがあったんですが、最終的に陶好会館が予算の中心だったということも含めて、この予算にはかなり大きな疑問があります。いろいろな思いがあった補正予算ですが、これまでの議論を踏まえて委員会としてきちんと修正すべきだと思います。

河野朋子委員 大体皆さんが言われたことと同じですが、一番大きな問題は計画性が十分だったとは思えない点です。複合施設については計画があって、それと付随するような施設については、市民が利用するということでは、建物自体は違うところの所管ではあっても、市民の立場から考えたときに計画も一緒にしていくべきだったと思いますけど、今回後から出てきたということは大きな問題ですし、その建物についても本当に新設すべきなのか、既設の物を使えないのか、そういった検討が十分できているとは思えませんし、ここでこの補正を可決しないことによる影響を聞くと、従来の建物が来年の夏ごろまで使えるということなので、その間にいろいろなことを検討していただくということを考えたら、この部分の予算を通すよりも、再検討してもらおうという意味でそこだけ凍結という形でいいんじゃないかと思います。

杉本保喜委員 陶好会館そのものの使い勝手ということに話を絞っていくと、これは老人が使うんです。それを考えたときに候補地として挙がった裏側の駐車所そのものが年寄りが使う場所として妥当なのかということを考えてときに、候補地として挙がった山陽勤労青少年ホームを工夫して使うということが老人にとって環境としてはいいんじゃないかと思います。そういった点で、再度使う側の環境を考えたときには裏側の駐車場は極めてまずいと思います。

長谷川知司委員 補正で上げた必要性はあると思いますが、果たしてあの場所でいいのか。ということは施設を造るということは長年使うことになりますので、もう少し考えて、あの場所でないとだめだという説得力を持ってほしいと思いますので、これについてはあそこでなければいけないということであれば、理由をきちんと説明していただきたいので、これについてはもう少し考える必要があると思います。

松尾数則委員 多くの委員が言われたように、厚狭地区複合施設整備事業の駐車場、その計画性、突然補正予算でこの時期に上がってきたということについて不満を感じており、もう少しまじめにやってほしいと思います。ということでぜひ修正すべきだと思います。

中村博行副委員長 そもそも議案説明の段階から駐車場が主であったというニュアンスで議案説明がされました。これについて実際は金額から考えて主であったのは実は陶好会館であったということが委員皆さんの不信感の発信源であったと思います。陶好会館の移設、駐車場についても担当委員会に話がなく、いきなり今回の補正に出てきた。そして、よくよく考えてみれば、補正でなくてもよかった、むしろ当初予算。陶好会館の移設については、他の場所、コスト意識をもう少し持って再検討すべきだと思いますので、この部分については一考されるべきだと感じます。

伊藤實委員長 全委員から自由討議として意見を聞きましたが、皆さんの意見として、もう少し再考せよという意見が全員ではなかったかと思います。ここで、中村副委員長から本議案に対する修正案が提出されていますので、配布させます。提出者から説明を求めます。

中村博行副委員長 ただいま提出しました「議案第79号平成27年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について」に対する修正案について説明します。今回の補正予算において、厚狭地区複合施設整備事業の一環として、職員駐車場整備事業と厚狭陶好会館移設事業に関する予算が計上されていますが、先ほどの自由討議における各委員の意見をもとに、これらの事業に関する予算を全額削除するものです。なお、今回の修正案は、事業の中止を求めるものではなく、各委員から出された意見について、十分精査し、計画を練り直して事業化されるよう要請するものです。

伊藤實委員長 提出者の説明が終わりました。それでは、本修正案について質疑、討論、採決を行います。まず、質疑を行います。御質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。討論を行います。討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で討論を終わります。これより、本修正案について、採決します。本修正案に賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

伊藤實委員長 全員賛成ですので、本修正案は可決されました。ただいま議決された修正案について、その条項、字句、数字その他の整理を要するものについては、その整理を委員長に委任していただきたいと思います。ご異議ありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり) 異議がありませんので、条項、字句、数字その他の整理は、委員長に委任することに決定しました。次に、ただいま修正議決した部分を除く原案について、討論、採決を行います。まず、討論を行います。討論はありませんか。

下瀬俊夫委員 先ほども自由討議の中で言いましたが、金が国から下りてくるから何でもかんでも使わなければいけないという問題とは違うのではないかと。そういう点ではもっとしっかり足元を見つめながら国の交付金をどう生かすかという観点があるのではないかと、そのへんが少し残念だったと思います。もう一つは現在使っている仮総合事務所の利用についても再度検討すべきだと思います。そういうことも一切抜きにして駐車場がポンと提起されたということに大変違和感があります。いろいろありますが、今回の補正には賛成したいと思います。

吉永美子委員 先ほど少しだけ触れましたが、新たな国からの交付金によっていろんなことをされる。これを本当に成功していただきたいという思いがありますが、委員会の中で議論してきた点については、執行部にしっかり意識を持っていただけたのではないかと思いますし、パンフレットについても議会としてどう活用されていくのかということをチェックしながら、やっていけないといけないと思いますけど、職員の思いは伝わってきました。本来であれば、予算要求してきた中で今回やっと取れたという形がベストだったんですが、その点については、今後の外国人の観光客を呼び込むための無料ワイファイ設置、多言語表示などを進めていただくことを期待します。また、山口東京理科大学が公立化される中で5事業するということがありました。公立化をしたのち、どのような大学になっていくということは、学生が歌う校歌についても、いいものにしていただきたいと思っており、期待しています。それから子供たちのスポーツ振興費というところでレノファの選手に来ていただいて、PK大会についても、参加賞についてはやり直しを考えるとということがきちんと出ましたし、委員会が申し述べたことについて対応していただけるということを確認させていただきましたので、今後を期待して賛成します。

伊藤實委員長 以上で討論を終わります。これより、採決します。修正議決した部分を除く原案について、賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

伊藤實委員長 全員賛成ですので、修正議決した部分を除く部分は原案のとおり可決されました。以上で委員会を閉会します。

---

午後 3 時 8 分散会

---

平成 2 7 年 9 月 1 7 日

一般会計予算決算常任委員会委員長 伊 藤 實